

平成 26 年度 事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

NPO法人コレクティブ

1. 事業の成果

4ヶ所の小規模多機能型居宅介護事業所および 6ヶ所の縁がわ（介護予防拠点）を運営し、「自宅にこだわり、地域の中で暮らし続けられること」ができるような取り組みを更に推進してきた。

とりわけ訪問型の小規模多機能の取り組みは、27年度の報酬改定で訪問体制強化加算として認められ制度化された。また、サービス評価のあり方を変えるために運営推進会議での評価の試行を行ってきたが、こちらも27年度から制度化されることとなった。

しかし、山鹿市での定期巡回・随時対応訪問介護では地域や医療機関等の理解が無い中で、利用者確保が困難な状況が続いている。また、小規模多機能型居宅介護でも長年の利用者が死去等により減少していて、新たな利用者開拓が問われている。

事業の状況（法人の定款の事業に対応して）

①訪問介護事業

ア 介護保険法による訪問介護事業

イ その他の訪問介護事業

山鹿市で定期巡回・随時対応訪問介護として事業を開始しているが、利用者の開拓はすすんでいない。ニーズはあるが、医療との連携が困難なこと、居宅介護支援事業所が自法人で抱え込んでいること等の克服できていないためである。

②通所介護事業

ア 介護保険法による通所介護事業

イ その他の通所介護事業

小国町の介護予防拠点「縁がわ小国（新橋）」で介護保険を利用しない形での通所介護を毎回3～6名の利用で週2回行っている。

③小規模多機能型居宅介護事業

4ヶ所の小規模多機能型居宅介護の質の確保を図りながら、利用者のニーズに応え、確実に事業をすすめた。利用者延総数 82 名。

④介護保険法による居宅介護支援事業

③の中で実施のために、居宅介護支援事業は休止している。

⑤自立支援法による障害福祉サービス事業

自立支援法での事業は利用希望者がいなかったために休止している。

⑥低利用料での住まいの運営事業

小規模多機能型居宅介護に併設した地域の中での高齢者・障がい者が安心して暮らせる共生型の住まい（熊本市戸島）の運営をおこなった。

⑦福祉相談事業

地域の各種の相談に対応し、また小規模多機能型居宅介護関係の相談にも対応した。

⑧安心して住める地域づくり事業

各拠点での運営推進会議を核に、地域づくりをすすめた。大牟田市の「地域の縁がわひらばる」では住民が運営する拠点づくりを行った。熊本市戸島の「地域ふれあいホームいつでんきなっせ」および阿蘇郡小国町の「縁がわ小国」、山鹿市熊入町の「介護予防拠点いつでんくるばい」でも、地域の安心拠点づくりを行った。

⑨認知症高齢者等の人権擁護にかかる事業

認知症高齢者の暮らしと人権を守る活動をすすめた。虐待への緊急避難対応等も行った。

2.事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
訪問介護事業	居宅での日常生活の世話(介護保険) その他	通年 定期巡回・随時対応訪問介護として実施	山鹿市	8名	2名	10,338
通所介護事業	介護保険外での通所	通年	阿蘇郡小国町	10名	要援助者 16名	1,802
小規模多機能型居宅介護事業	通い・訪問・泊まりのサービス	通年	熊本市北区小糸山町、同東区戸島西1丁目、山鹿市熊入町、阿蘇郡小国町の4ヶ所	61名	要援助者 82名	203,380
介護保険法による居宅介護支援事業	居宅の要援護者のケアプラン作成とケアマネジメント	小規模多機能型事業開始で休止		0名		0
自立支援法による障害福祉サービス事業	障害者が地域の中で、暮らせるための支援、居宅介護事業	利用者なしにて休止		0名		0
低利用料での住まいの運営事業	要援助者の方の住まいの運営	通年	熊本市内	13名	5名	3,252
福祉相談事業	認知症介護及び小規模多機能型居宅介護事業の設立相談等	通年	熊本市内 小国町内 山鹿市内	6名	一般 200名	10
安心して住める地域づくり事業	安心の地域づくり	通年	熊本市、山鹿市内 小国町内 大牟田市内	30名	一般 800名	200
認知症高齢者等の人権擁護にかかる事業	人権擁護の活動	通年	熊本市、山鹿市内 小国町内 大牟田市内	6名	一般 30名	10